

問 道路凍結防止施設維持費で、佐野坂の使用されていない個所の今後の維持管理方針は。

答 施設の必要性を再考し、電気契約の解約等を検討中です。

問 中学校で心の相談員に對する謝礼を支出しているが、小学校には。

答 電話相談事業の相談員が小学校2校を巡回しており、25年度は増員しています。

問 図書館の利用者が増加している要因は。

答 狭いスペースですが、図書を選定など関係者の努力によるものと思います。

問 オリンピック施設関連の補助金は減額になっているが、今後続くのか。

答 リフト収入は村に入っています。県の財政も厳しいが、現状維持をお願いしたいと思います。

▽原案のとおり認定すべきものと決定。



すこやかに育て 白馬南小学校 9月21日

●国民健康保険事業勘定
特別会計歳入歳出決算

歳入総額は12億4863万4千円、前年度比61.1万9千円の増。歳出総額は12億

1429万6千円、前年度比2264万3千円の増。実質収支額は3433万8千円の黒字。

▽原案どおり認定すべきものと決定。

●後期高齢者医療特別会計
歳入歳出決算

歳入総額は6775万7千円で前年度比500万円の増。歳出総額は6756万9千円で前年度比499万2千円の増。実質収支額は18万8千円の黒字。

▽原案どおり認定すべきものと決定。

●下水道事業特別会計
歳入歳出決算

歳入総額は5億7908万5千円で前年度比1067万6千円の増、歳出総額は5億6628万1千円で前年度比1420万1千円の増。実質収支額は1275万9千円の黒字。

受益者負担金の不納欠損額は1億514万1千円で、調査により判明した平成6年分からの時効消滅額が不納欠損処理されたもの。

問 不納欠損額のうち、当初、時効消滅額は9979万円超との報告であったが、今回の不納欠損額との相違理由は。

数値を精査する中で55万円ほどの相違はあったが、数値報告以降時効により消滅した平成19年度賦課の第1期分から第3期分までの未納分が加わったものです。

答 下水道使用料の不納欠損額5万8380円の数値は。

5人分5件です。

問 賦課替え等の条例改正があったが、受益者負担金賦課は現在のシステムで適正に管理されているか。

答 賦課当時からかなり年数が経過していて、分合筆や国土調査等により異動となっている場合もあるため、現在、賦課地1筆ごとに異動履歴を調査しており、調査終了後は発生する異動データを処理して管理できます。

問 受益者負担金還付金の内訳は。

時効消滅後の徴収6件、前納報奨金の未付与5件、賦課無効の土地2件、過納1件です。

1429万6千円、前年度比2264万3千円の増。実質収支額は3433万8千円の黒字。

▽原案どおり認定すべきものと決定。